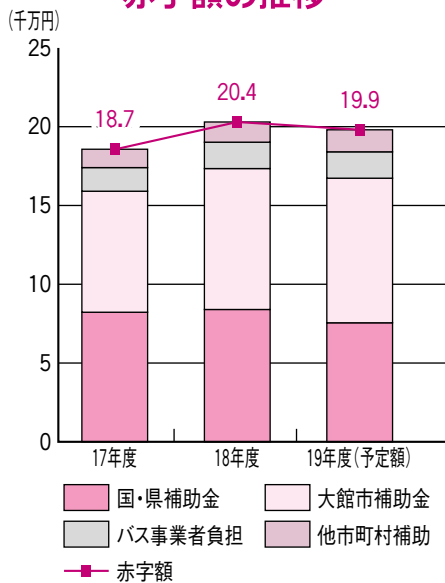




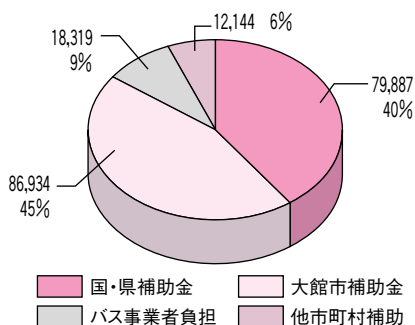
【図1】

路線バスへの補助金 赤字額の推移



【図2】

路線バスへの補助金 補助内訳 (H17～H19平均)



市内の路線バスの現状

現在、市内では42系統の路線バスが運行され、そのうち34系統が市・国、県、バス事業者の補助や負担で維持されています。

●平成18年度には、赤字額が約2億円

利用者が年々減少しているため、路線バスの経営状況は毎年赤字となっています。平成18年度には、赤字額が約2億円にも上りました(図1参照)。

●市・国・県からの補助金が85%を占めています

補助金の内訳をみると、市・国・県が全体の85%を占

路線バスは通勤、通学、通院、買物などに利用できる大切な公共交通機関です。しかし、マイカーの普及などにより利用者が年々減少し、全国的にも路線の廃止・縮小が進んでいます。私たちを運び続けてくれる路線バス、あなたも利用してみませんか？

めています(図2参照)。また、市の補助金のうち、約80%が国から特別交付金として支援を受けています。

バス路線の縮小・廃止の危機

これまでも路線バスの効率的な運営を図るため、運行ルートや運行時間の見直し、減便などの具体的な施策を行ってきました。しかし、今後も利用者が減少すると、国や県の補助も受けられなくなり、さらなる路線の縮小・再編や新たな仕組みが必要になります。

私たちに必要な交通手段

路線バスは、マイカーなどの移動手段を持たない高齢者など

にとって、大切な交通手段です。また、今はバスを必要としない人でも、将来車を運転しなくなったときなど必要になる移動手段です。

便利な路線バスとマイカーを使い分けて利用しましょう

普段は車を利用する人でも、出張などの車以外で移動するときや、飲酒時の帰宅などには、公共交通機関が便利です。また、マイカーを使わずバスに乗ることとは、排気ガスによる環境汚染を抑制し「環境にやさしいまちづくり」にもつながります。みんながバスの利用方法を考えて実行に移しましょう。